

「やっ…ん！」
「どっ…っ…っ…っ…っ…ん…な…」

ピ
ン
ピ
ン

「りみちゃん達のおかげで
この商店街も活気が出てきたよ」

「そのお礼としてさ
気持ち良くなって
スツキリしてもうっつかって
話になったの(笑)」

「きも…ち…
んぎツツ!!」

「ぶっ…ぶっ…!!」

「お、山吹の旦那
今日はかなり
ガッツリじゃないですか？」

「娘の友達を
孕ませるとか…
もう腰が…止まら…ッ」

「今日は
パン作りじゃなくて
子作りってわけですか(笑)」

「う…っ…っ…っ…っ…っ…っ…」



「りみちゃん
いつもパン買ってってくれてありがとな
感謝の臍内出し
しっかりま●こで受け止めるよ♡」

「へ…っ
え…えツ…なか…」

「いくぞツイくぞりみ!!
初物ま●こ種付けしてやるツ!!」

「やッ!!
嫌いああああッ!!」

「おツりみちゃん
そんな大きな声
出せるんだ♡」

「やッいや!
ひっ痛!
んぎ!ぐっんんツ!!」

「ぐ…お…きたきたツ!!
りみ孕めツ孕め!!
俺のガキ孕めりみイイツ!!」



「いあももももママママっ!!!」

大きな赤い「ビク」の文字が、母乳が飛び出す乳房の横から飛び出している。

縦に並んだ赤い「びゅんびゅんびゅんびゅん」の文字が、母乳が乳房から溢れ出している様子を示している。

「お……おお……」
「JKの初物……ま●……い」最高……」

「や……あ……あ……」

「ふ……っ」
「ふー……孕め」
「孕め……孕み……やがれ……ッ」

「自分だけ」
「気持ち良くなっちゃ」
「駄目でしょ山吹さん(笑)」

「さあ次いくよ」
「りみちゃん」
「ち●ほ大好き娘に」
「してあげるからね♡」

「あ……ああ……」
「だれ……か……た……す……」



「くあああッ!!
種付け!!りみま●こ種付けッ!
俺の特濃種汁で孕めえええッ!!」

「んああアアあッ♡
ひゃあ♡ああアア……♡」

「ぐ……♡
搾りと……られる……♡」

「あ……♡
あ……ひいあ!!
んんんああアあッ♡」

「ほらほら
奥にごすり付けられるの
好きなんだろ?♡」

「はッはひい♡
すひ♡すひいです♡
めっひゃしゅきです♡」

「りみちゃん
ホント子宮口責め好きだな(笑)」

「ひいんっ♡
あ♡あッア♡おぐイぐ♡
おぐイぐ♡イぐううッ♡♡♡」

「おいしい
そろそろ次誰呼び出すか決めてぞ」









